

6. グローバル・リーダーズ・プログラム(GLP)

グローバル・リーダーズ・プログラムは、現実を踏まえた理論的な思考力と優れたコミュニケーション能力を持ち、産官学の現場で活躍できるリーダーの育成を目指し、2013年度より本格的に始動した。その特徴は、英語のコミュニケーション能力と経済学の専門的な知識や考え方の両方を修得できる点である。それを支えるのは、経済学を基礎から体系的に修得できるカリキュラムと、海外の大学で博士学位を取得し、また海外で豊富な教育経験を持つ多数の教員である。英語スキル科目や英語で開講される経済学部専門科目の履修、短期海外調査や1年間の長期留学により、英語のコミュニケーション能力に加えて、深い専門知識、グローバル経済の「現場感覚」、問題解決のための政策提言能力を養成する。

学部1年次終了時点において、書類審査、面接により、学業成績や語学力、志望動機などを総合的に評価して15名程度を選抜し、「グローバル・リーダーズ選抜クラス」を形成する。選抜クラス学生は短期海外調査に優先的に参加でき、長期留学に向けてプログラム・コーディネーターから手厚い指導と支援を得ることができる。学部4年間で経済学部専門科目の卒業要件単位の6割以上を英語による授業で修得した学生には、卒業時にHonors Degree(優等学位)として「グローバル・リーダーズ・プログラム修了証書」を授与する。

2013年度末には選抜クラスに多数の学生が出願し、第1期生として17名を選抜した。第1期生は2014年度に短期海外調査のための基礎ゼミを履修し、夏学期には事前調査と研究発表の準備を行い、夏季休暇中にドイツ・デンマークあるいは中国で国際機関・政府機関・企業等の訪問調査と現地の大学生との合同研究発表・討論を実施した。冬学期には英文の報告書を作成し、経済学研究科のウェブサイト公開した。なお、第1期生のうち10名は、2015年度に本学の協定校への派遣留学することが内定している。